



本日の卓話 5月12日(火)

「正しさより明るさ
～人生は学びと実践～」

和歌山県倫理法人会
会長 中道 幸代 さん



次週の卓話 5月19日(火)

「古代豪族紀氏の研究～其の三」

紀 俊 崇 会員



先週の例会記録

★ロータリーソング

四つのテスト

★ビ ジ タ ー 紹 介

ゲスト 泉大津市 参与兼市長公室長 中山秀人さん、
泉大津市 官民連携アドバイザー 木全 啓さん、
泉大津市 秘書広報課長 谷内恵介さん、
和歌山東RCより島垣利光さん、
和歌山中RCより戎 敬史さん、小川世琳さん、丁玉傑さん

★出 席 報 告

(会員数76名、免除会員4名)
本日出席(4/28) 52名 71.23%

★メ イ キ ャ ッ プ

和南へ7名、東南へ5名、アゼリアへ6名、地区へ1名

★S. A. A.
(ニコニコ箱)

和歌山東RC 島垣利光さん、
和歌山中RC 戎 敬史さん、小川世琳さん、丁玉傑さん、
松尾泰明さん、垣本英作さん、岩西智宏さん、
依岡善明さん、坂本貢朗さん、石橋 健さん、
塚本貞治さん、紀 俊崇さん

本日合計 ¥35,000 今年度累計額 ¥2,177,065

(財団寄付献金箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん

(米山奨学会献金箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん

(青少年育成奨励金)

松尾泰明さん、垣本英作さん、竹中喜廣さん

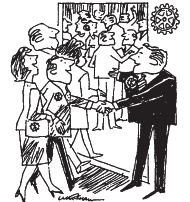
5月は青少年奉仕月間
(Youth Services Month)



誕生日お祝い

新会員を推薦しよう

ロータリーに友達または
同僚を1人紹介しよう



会長あいさつ

会長 松尾泰明



昨日4月27日は、和歌山ロータリークラブの創立記念日です。89歳を迎えました。そういうことで今日は先輩たちがご苦労されて作成された過去の記念誌より抜粋して、クラブの歴史を少しだけお話ししたいと思います。

1937年(昭和12年)4月27日、神戸ロータリークラブをスポンサークラブとして発足致しました。RI加盟認証は同年5月25日、認証クラブNo.4289、日本では28番目のクラブであります。

4月27日は和歌山商工会議所にて式典を終えた後、会場を和歌ノ浦の不老橋袂の不老館に移して記念晩餐会が開催されました。当時の新クラブの発会式としてはたいそう盛大な式典であったと記録されているそうです。

ところが、同年7月7日、盧溝橋事件をもって始まった支那事変によって、チャーターナイト(認証状を受取る式典)は開催できなかったようです。しばらくして国民総動

員が叫ばれ、大阪憲兵隊からも睨まれ、例会場を商工会議所から丸正百貨店に移すことになったそうです。そしていよいよ大東亜戦争、世界は第2次世界大戦へと突入していくわけですが、その直前に全国的な流れを受け1940年9月、国際ロータリー脱会を余儀なくされました。それでも先輩たちはクラブを解散せずに「和歌山火曜会」として活動を続けられたわけであります。

その時の様子を、島村安昭会員のお父様、安彦さんが記念誌の中でこう語っておられます。「例会中必ず憲兵が立っていて、睨まれようもんならみんな震え上がったものです。そんな中、火曜会はかなり軍の圧力に抵抗していたともいえると思います」

しかし、暫くして和歌山も大空襲に遭い、丸正百貨店も焼けてしまい例会も立ち消えになってしまったそうです。

戦争が終わり、各国のロータリークラブが国際ロータリーに復帰していきます。日本も例外ではなく、東京はじめ都市部のRCが復帰を果たしました。

1950年(昭和25年)12月末日が復帰期限だったそうです。和歌山RCの再認証日が12月28日ということでもありますか

ら、まさに滑り込みセーフという訳です。実に脱会から10年も経過した時のことでもあります。

このように諸先輩方の大変なご努力によって繋いでいただいたからこそ、今の和歌山RCがあるわけです。

幸いにもこの創立記念日の時期はGWも近いです。一度歴史を紐解くべく記念誌をお読みになるのも良いのではないのでしょうか？ 新たな発見が沢山あると思います。

会 長 報 告

北野治義ガバナーですが、3月初旬より体調不良のため入院療養中とのことではありますが、残任期間につきガバナーとしての職務が遂行されないとの判断から、副ガバナーでありますパストガバナーの谷 宗光氏が後任のガバナーを務めるという事です。

なお、就任日は4月23日です。

北野さんには是非体調戻られてお元気なお姿を見せていただきたいと思います。ご回復をお祈りいたします。

クラブ通アプリは本日テスト期間最終日です。

登録数結果は61名です。

次週からは未登録の方はお名前公表します。

幹 事 報 告

■ 例会変更のお知らせ (和歌山西RC、和歌山北RC、海南東RC、海南西RC、有田RC、粉河RC)

■ 5月5日祝日の為、次回例会は休会となります。

■ 5月12日第11回理事会 締切本日(4/28)となります。

なお、資料等挿入される理事は、4月30日(木)までに送付ください。

■ 第2回IDM グランブロー・ミムラ

5/13・14・15日(水～金) 18:30～

予備日: 5/19(火) 締切4/28

■ 春のBBQ家族会in萬波 5/17(日) 報告 締切4/28

卓 話

「激動社会における 官民連携・市民共創のまちづくり」



泉大津市長 南出 賢一 さん

何が起るかわからない激動の時代において、泉大津市から日本、さらには世界の共通課題の解決モデルを生み出し、未来への指針を示すまちづくりを進めています。まちの歴史や強みを活かしながら、「官民連携」「市民共創」のもと、市民の暮らしと食、健康を守る市政運営を展開してきた結果、若者に選ばれるまちへと変化してきました。

未病予防の推進や地域医療体制の強化に向けた公立病院

の再編、都会の中に森をつくる公園整備など、多様な取組を進めています。とりわけ「食」は命に直結するインフラであり、医食同源米を活用した妊婦支援や、物価高騰下においても保護者の負担を増やすことなく給食の質を高めるなど、食べながら健康になる仕組みを実現してきました。

さらに、令和の米騒動の発生前から食料危機を見据え、都市と農村の共存共生を前提としたサプライチェーンの構築に取り組んでいます。都市部の暮らしは農山村に支えられており、農業を守ることは都市を守ることに繋がります。ありがたいを直接伝えられる顔の見える関係のもと、良い時も悪い時もお互いを支え合いながら農家の所得向上と安定化を図るとともに、何がなんでも市民を食いつぶれさせない、その覚悟で施策を展開してきました。

都市と農村が支え合う関係の重要性が高まる中、和歌山は海や山、農地、歴史と伝統を有する恵まれた地域であり、今後選ばれるまちの素地が整っています。本市とも近接することから、連携しながら日本の価値向上につなげていければと考えています。



(左から)木全様^{*1}、谷内様^{*2}、中山様^{*3}、紀会員(紹介者)、南出 泉大津市長、松尾会長、垣本幹事、岩西S.A.A.

※1 泉大津市・官民連携アドバイザー、※2 同・秘書広報課長、※3 同・参与兼市長公室長

5月プログラム予定

和歌山ロータリークラブ
出席・プログラム委員会

5月	タイトル	卓話者
5日	〈祝日〉	
12日	「正しさより明るさ～人生は学びと実践～」	和歌山県倫理法人会 会長 中道幸代さん
19日	「古代豪族紀氏の研究～其の三」	紀 俊崇 会員
26日	「(仮)ジョイ・コムの新なる取り組み」	認定NPO法人ジョイ・コム (認定特定非営利活動法人) 理事長 岡田亜紀さん